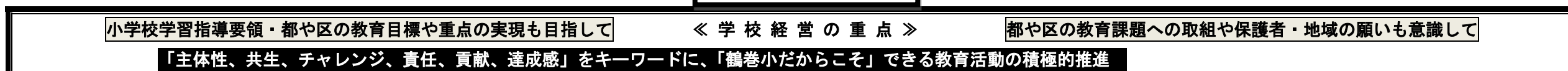


《目指す学校像—温もりと優しさに満ちた安心・安全な場所—》「児童が今日一日を心に描き、期待に胸をふくらませて登校する学校」

【児童にとって】—楽しさと生き甲斐—	【教師にとって】—向上と協働—	【保護者・地域にとって】—信頼と親しみ—
<p>○学ぶことが明確、学ぶ充実感がある ○頑張りが認められ、自信が湧く</p> <p>○共に学び生活する喜びや感動体験がある</p>	<p>○資質・能力の向上と高め合い ○責任の意識と互助の精神で</p> <p>○持ち味や専門性を生かす ○子どものために結束して力を発揮する</p>	<p>○この学校なら、この先生ならといわれる地域からの信頼</p> <p>○保護者・地域と共に歩む姿勢で、日常の努力を公開し協力を得る</p>

《学校の教育目標と目指す児童像》「将来の社会を生き抜くために必要な知恵と優しさと精神力の基礎を身に付けた子」

よく考える子ども	思いやりのある子ども	たくましい子ども
<p>■課題意識をもって主体的に学び、確かな理解を積み上げる子</p> <p>■チャレンジする心で集中して粘り強く学び、考えを深める子</p> <p>■自分の考えや思いを互いに伝え合える表現力を身に付けた子</p> <p>■人や社会、理科との関わり方のあるべき姿を考える子</p>	<p>■友達のよさを認め、互いの頑張りを喜び合える子</p> <p>■相手の立場になって考え、優しい心で関われる子</p> <p>■心が一つになる心地よさを実感し、協力してやり遂げる子</p> <p>■学校や地域を愛し、すすんで関わっていく子</p>	<p>■健康、安全に気を付け、すすんで体力を高める努力を続ける子</p> <p>■心が健康で、返事・挨拶・後始末がしっかりできる子</p> <p>■健全な心と体で、困難を乗り越え、やり遂げる子</p>



<p>（１）工夫と成果が目に見える教育活動の充実</p> <p>①主体的・対話的で深い学びを実現する。⇒各教科、総合的な学習の時間や特別活動等において課題発見、課題追究、協働的な学び、まとめ、ふり返りなどの授業展開を工夫し、計画的・効果的に実施する。（単元・授業設計の工夫、学習の個性化、指導の個別化等）</p> <p>②ICTを活用したGIGAスクール構想の充実を図る。⇒一人1台タブレット端末や大型ディスプレイのある電子黒板を有効活用するとともに、教員や児童が効果的に活用できる環境を整備することで、GIGAスクール構想の実現を目指す。（ほぼ毎時間の授業における最大限の活用、教材の蓄積と共有、研修の充実等）</p> <p>③言語活動の充実を図り、思考力・判断力・表現力を育成する。⇒全教育活動において、相手に分かりやすく伝える活動を重視し、協働的な学びを通して思考力・判断力・表現力の育成を図る。（学級、異学年、学校全体での発表機会の確保、話し合いにより考えを広げる・深める等）</p> <p>④基礎的・基本的な学習内容の定着を図る。⇒「朝学習の時間を設定し、効果を上げる工夫」、「漢字力、計算力の指導（家庭学習の習慣化）」、「音読、群読」、「読書指導」、「習熟度別指導」、「一人一台タブレットPCを活用したドリルパーク等への取組」の充実を図る。</p> <p>⑤外国語・外国語活動の充実を図る。⇒外国語・外国語活動において、教科書やデジタル教材等を計画的に活用し、体験的な活動を通して、コミュニケーション能力の素地を養う。（担当教員とALTの連携の強化）</p> <p>⑥教科担任制を工夫し、中学校への円滑な接続を図る。⇒新宿区の指針により、中・高学年において教科担任制を工夫して進め、より多くの教員による授業を受けられる環境を整える。（教科担任制担当による理科、学習指導支援員による理科、外国語・外国語活動や家庭科、学級担任による交換授業等）</p>	<p>（２）心と体の健全な育成のための指導</p> <p>①開校100周年における成果をもとに、学校・地域を愛する心を育成する。⇒昨年度開校100周年を迎えた中で活性化された地域の人材を生かし、地域と連携した教育活動の充実につなげる。（各学年による地域連携事業の充実）</p> <p>②6年生を手本とする伝統の継承、たてわり班活動の充実を図る。⇒小規模校の特性を生かし、異学年交流を活性化させ、なかよし班（たてわり班）遊び・給食・清掃等を通して、上学年の姿から学ぶ伝統を継承する。</p> <p>③道徳科を要として教育活動全体を通じ、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。⇒教科書やその他の教材等を活用し、道徳的価値について自分のこととして考え、多様な考え方や感じ方に接する場を設定する等、学習指導の工夫・改善を行う。また、情報モラル教育のさらなる徹底を図る。</p> <p>④特別活動の目標を共通理解し、児童の自治的な活動を活性化する。⇒主に、学級活動において「相手意識」「目的意識」を重視した実践を積み重ね、児童会活動、クラブ活動、学校行事等においても、主体的に取り組む児童を育成する。</p> <p>⑤新宿区架け橋プログラムや小中連携を推進する。⇒保幼小合同会議、小中連携協議会を通して相互理解し、幼児、児童、生徒の育成に向けた連携教育の充実を図る。また、「架け橋期のカリキュラム」を作成するとともに、併設・近隣幼稚園との交流を強化する。</p> <p>⑥社会貢献の意識の育成⇒新宿養護学校との交流、地域清掃、ふれあい給食等の活動とあわせて、「共生社会」の一員である自覚と実践力を育成する。</p> <p>⑦生活指導を徹底する。⇒学校としての指導方針を明確にし、規律ある生活態度を育成する。保護者や地域と児童の現状や課題について共通理解を図り、共に指導していく。</p> <p>⑧体力向上を計画的に目指す。⇒スポーツテストやスポーツギネス、朝ギネスを生かした運動や遊びの工夫、なわとび旬間・持久走旬間の計画的実施、専門性の高いゲストティーチャーを招聘する。</p>	<p>（３）教師自らの変革による教育の活性化</p> <p>①学校経営方針の実現に向けた教育活動を計画的に推進する。⇒経営方針を具体化するための自己申告による計画を作成し、PDCAサイクルに基づいた経営を進める。また、副担任制により、低・中・高学年ごとに学習や生活の支援を行うとともに児童についての相談を深め学級運営に関わる。</p> <p>②校内研究を通して児童の実態に即した教育活動の改善を図る。⇒児童の実態と教師の願いを融合し、より効果的な単元・授業設計や指導方法を見出し、児童に還元する。また、授業観察の充実や互いに授業を見合う機会の設定により授業改善につなげる。</p> <p>③授業力の向上を図る。⇒学級経営と学力向上を両輪とした教育活動に全員で取り組む。また、対象児童の短期間での退級を目指し、まなびの教室との連携を強化し、ユニバーサルデザインの視点で授業改善と指導法の工夫を推進する。</p> <p>④児童と向き合う時間を確保する。⇒3S（整理・整頓・清掃）や初期対応の重視に加え、校務改善を継続し、庶務的・事務的な業務や教育活動の精選を図り、児童と向き合う時間を確保する。</p> <p>⑤家庭・地域との連携を大切に教育活動⇒諸通信や教育実践の公開、地域行事への協力、学校HP、一斉メール等を通じた積極的な教育活動の発信を行うとともに、地域協働学校を核とした連携を強化・推進する。</p>
<p>（４）校内外における安全の確保</p> <p>①人権感覚を醸成する。⇒学校いじめ防止基本方針に基づき、いじめ等の未然防止や早期発見・早期解決に向けた迅速で組織的な対応を行う。また、教職員の人権感覚を磨き、全教育活動において児童の人権意識を高める。</p> <p>②安全教育の充実を図る。⇒児童の危険回避能力や行動選択能力の向上をめざし、避難訓練・地域防災・生命尊重を含めた安全教育の充実を図る。</p>		

